

資料 No.	試験の種類・期間	試験動物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	試験機関	報告年
20 (GLP)	繁殖 (原体)	ラット	F ₀ 雄 26 雌 26 F ₁ 雄 30 雌 30	飼料添加 (2世代)	0, 3, 15, 75 (ppm) F ₀ 雄 0.2, 1.0, 5.0 F ₀ 雌 0.2, 1.2, 6.7 F ₁ 雄 0.2, 1.0, 5.6 F ₁ 雌 0.3, 1.4, 8.2	Hazleton Laboratories America, Inc.	1988
21 (GLP)	発生神経毒性 (原体)	ラット	雌22	経口	0, 0.5, 1.4, 4	Huntingdon Life Sciences Ltd.	1995
22 (GLP)	催奇形性 (原体)	ラット	雌 25	経口	0, 0.3, 0.6, 1.2, 2.4	Hazleton Laboratories America, Inc.	1986
23 (GLP)		ウサギ	雌 15	経口	0, 1, 3, 6, 9	Hazleton Laboratories America, Inc.	1986
24	変異原性 (原体)	サルモネラ菌 大腸菌	7 菌株	Ames-Test	0, 200, 1000, 5000 (S-9Mix-) (µg/plate) 0, 100, 1000 (S-9Mix+) (µg/plate)	残留農薬研究所	1976
25 (GLP)		サルモネラ菌	4 菌株	Ames-Test	0, 4, 20, 100, 500, 2500 (µg/plate)	Microtest Research Limited	1985
24		サルモネラ菌 マウス		宿主経由	0, 5, 10 (2回投与)	残留農薬研究所	1976
26 (GLP)		マウス リンホーマ		遺伝子 突然変異	0, 7.9, 15.7, 31.3, 62.5, 125, 250 (µg/ml)	Microtest Research Limited	1986
27 (GLP)		CHO 細胞		染色体 異常	0, 1250, 2500, 5000 (µg/ml)	Microtest Research Limited	1985
28 (GLP)		ヒト リンパ球		染色体 異常	0, 3.125, 6.25, 12.5, 25 (µg/ml)	Toxicol Laboratories Limited	1987
29 (GLP)		マウス	雄、雌 5	小核試験	0, 30	Microtest Research Limited	1985
24		枯草菌		Rec-Assay	0, 20, 100, 200, 500, 1000, 2000 (µg/disk)	残留農薬研究所	1976
30 (GLP)		HeLa 細胞		不定期 DNA 合成	0, 0.0064, 0.032, 0.16, 0.8, 4, 20, 100, 500 (µg/ml)	Microtest Research Limited	1985

資料 No.	試験の種類・期間	試験動物	1群当り 供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	試験機関	報告年	
31	生体 の 機 能 に 及 ぼ す 影 響 一 般 薬 理 (<u>純品</u>)	一般症状	マウス	雄、雌 5	経口	0, 3, 5, 8, 12, 18	実医研	1992
		脳波	ウサギ	雄 3	腹腔内	2, 5		
		自発運動量	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		最大電撃 痙攣	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		Pentrazol 痙攣	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		協調運動 (回転棒法)	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		体温	ウサギ	雄 3	経口	0, 12.5, 25, 50		
		睡眠時間	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		鎮痛作用	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		筋弛緩作用 (傾斜板法)	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		筋弛緩作用 (懸垂法)	マウス	雄 10	経口	0, 3, 5, 8		
		呼吸・ 循環器	ウサギ	雄 6	腹腔内	2, 5		
		瞳孔径	ウサギ	雄 3	経口	0, 12.5, 25, 50		

資料 No.	試験の種類・期間	試験動物	1群当り 供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	試験機関	報告年	
31	生体の機能に及ぼす影響 — 般薬理(純品)	平滑筋	モルモット	雄 3	摘出回腸	0, 10 ⁻⁹ ~10 ⁻³ (g/ml)	実医研	1992
		横隔膜神経筋	ラット	雄 3	摘出横隔膜神経筋	0, 10 ⁻⁷ ~10 ⁻³ (g/ml)		
		前脛骨筋収縮	ウサギ	雄 6	腹腔内	2, 5		
		小腸輸送能	ラット	雄 6	経口	0, 6, 12.5, 25, 50		
		溶血性 (Parpart法)	ウサギ	雄 2	経口	0, 12.5, 25, 50		
		血液凝固 (APTT法)	ウサギ	雄 3	経口	0, 12.5, 25, 50		

資料No.	試験の種類	供試動植物等	投与方法・処理量	試験場所 (報告年)
M-1	ラットにおける 吸収、分布、代謝 および排泄	CrI:CD (SD)BR系 ラット	¹⁴ C-acid標識 低用量経口1回 雄 0.8mg/kg 雌 0.3mg/kg 非標識 14日間 投与後標識1回 雄 0.8mg/kg 雌 0.3mg/kg 高用量経口1回 雄 30mg/kg 雌 15mg/kg	Hazleton Laboratories Europe Ltd. (1986)
M-2	ラットにおける 吸収、分布、 排泄 ^(註) および 胆汁排泄	CrI:CD (SD)BR系 ラット	¹⁴ C-acid標識 低用量経口1回 雄 0.3mg/kg 非標識 14日間 投与後標識1回 雄 0.3mg/kg 高用量経口1回 雄 15mg/kg 胆汁排泄 経口 1回 雄 0.3mg/kg 雌 0.3mg/kg	Hazleton UK (1988)
M-3	ラットにおける 代謝物定量およ び構造解析	CrI:CD (SD)BR系 ラット	¹⁴ C-acid標識 低用量経口1回 雄 0.3mg/kg 雌 0.3mg/kg 非標識 14日間 投与後標識1回 雄 0.3mg/kg 雌 0.3mg/kg 高用量経口1回 雄 15mg/kg 雌 15mg/kg	Hazleton UK (1989)

(注) 本試験(M-2)の吸収、分布および排泄試験は、前試験(M-1)での雌雄の用量を合わせるため、雄において 0.3mg/kg および 15mg/kg の用量で追加実施された。

資料No.	試験の種類	供試動植物等	投与方法・処理量	試験場所 (報告年)
M-4	ラットにおける 排泄、分布および 代謝	SD系ラット	低用量経口1回 ¹⁴ C-acid標識 雌 0.5, 1.0, 2.0, 3.0mg/kg ¹⁴ C-phenol標識 雌 2.0mg/kg	日産化学工業(株) 中央研究所 東京農業大学 農学部 (1980)
M-5	大豆における 吸収、移行、代謝	大豆	¹⁴ C-acid標識 ¹⁴ C-phenol標識 50μg/葉	日産化学工業(株) 生物化学研究所 東京農業大学 農学部 (1980)
M-6	大豆における 代謝分解	大豆	¹⁴ C-acid標識 ¹⁴ C-phenol標識 根部処理法 0.1mg/100ml 水耕液 茎注入法 0.3μci/5μl アセトン	日産化学工業(株) 生物化学研究所 東京農業大学 農学部 (1980)
M-7	水稻における 代謝分解	水稻	¹⁴ C-acid標識 散布処理 67.5g a.i./10a ¹⁴ C-phenol標識 葉面塗布 4.5μg/葉、5葉/ポット	日産化学工業(株) 生物科学研究所 (2001)
M-8	ネギにおける 代謝分解	ネギ	¹⁴ C-acid標識 葉面塗布 67.5g a.i./10a	日産化学工業(株) 生物科学研究所 (2001)

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値			作物残留試験成績 ppm	備考
				登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
米(玄米をいう)	0.1	0.1	○				0.016,0.001	
小麦 大麦 ライ麦 とうもろこし そば 上記以外の穀類	0.2		○				0.038,0.022	
大豆 小豆類(いんげん、ささげを含む) えんどう そらまめ らっかせい 上記以外の豆類								
ばれいしょ さといも類(やつがしらを含む) かんしょ やまいも(長いもをいう) こんにやくいも 上記以外のいも類		0.1						*1
てんさい さとうきび								
だいこん類(ラディッシュを含む)の根 だいこん類(ラディッシュを含む)の葉 かぶ類の根 かぶ類の葉 西洋わさび クレソン はくさい キャベツ 芽キャベツ ケール こまつな きょうな カリフラワー ブロッコリー 上記以外のあぶらな科野菜		0.1 0.1 0.1 0.1						*1 *1 *1 *1
ごぼう サルシフィー アーティチョーク チコリ エンダイブ しゅんぎく レタス(サラダ菜及びちしゃを含む) 上記以外のさく科野菜		0.1						*1
たまねぎ ねぎ(リーキを含む) にんにく アスパラガス わけぎ 上記以外のゆり科野菜	0.1		○					
にんじん パースニップ パセリ セロリ みつば 上記以外のせり科野菜		0.1						*1
トマト ピーマン なす 上記以外のなす科野菜	0.1 0.1 0.1	0.1 0.1 0.1	○ ○ ○				<0.005,0.025	
きゅうり(ガーキンを含む) かぼちゃ(スカッシュを含む) しろうり すいか メロン類果実 まくわうり 上記以外のうり科野菜	0.1 0.2 0.1 0.1	0.1	○ ○ ○ ○				0.031,0.009 0.011,0.051	

農産物名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値			作物残留試験成績 ppm	備考
				登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
ほうれん草 オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	0.1	0.1	○					*1
マッシュルーム しいたけ 上記以外のきのこ類 上記以外の野菜								
みかん なつみかん なつみかんの外果皮 なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む) グレープフルーツ ライム 上記以外のかんきつ類果実		0.1 0.1 0.5						*1 *1 *1
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ		0.1 0.1						*1 *1
もも ネクタリン あんず(アプリコットを含む) すもも(プルーンを含む) うめ おうとう(チェリーを含む)		0.1 0.1						*1 *1
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハックルベリー 上記以外のベリー類果実		0.1						*1
ぶどう かき		0.1 0.1						*1 *1
バナナ キウイ パパイヤ アボカド パイナップル グアバ マンゴー パッションフルーツ なつめやし 上記以外の果実								
ひまわりの種子 ごまの種子 べにばなの種子 綿実 なたね 上記以外のオイルシード								
ぎんなん くり ペカン アーモンド くるみ 上記以外のナッツ類								
茶 コーヒー豆 カカオ豆 ホップ		0.1						*1

*1 国内外において当該農薬の使用が確認されないことから、基準値を削除。